

# 研究タスク活動報告： ソフトウェアパターン研究調査

---

鷺崎 弘宜

パターンワーキンググループ / 研究タスク

<http://patterns-wg.fuka.info.waseda.ac.jp/>

# 目的と活動実績

## ■ 目的

- ソフトウェア工学の観点からソフトウェアパターンの定性的 / 定量的特性に関する研究成果を整理し、今後、取り組むべき事柄を明らかに
- ソフトウェア開発でパターンランゲージが機能する仕組みと効果を工学的に明らかに

## ■ 参加者 13名

- 東工大、JAIST、佐賀大、立命館大、NAIST、早大南山大、NII、日本工業大、日本IBM

## ■ 活動(普段はメールベース)

- 2003年4月25日 会合
- 2003年5月23日 設立記念セミナー
- 2004年8月22日 OO2003シンポジウム
- 2004年1月29日 ウィンターワークショップ
- 2004年3月24日 会合



# ソフトウェアパターン研究の現状

- 研究成果分類表: 44件の学術論文・ツール
- デザインパターンへの適用・検出一辺倒
  - デザインパターン以外は、どれほど使われている？
  - 種々のパターンをソフトウェアパターンと一般化して議論できるか？

	デザイン パターン	アーキテクチャ パターン	組織・プロセス パターン	パターン運用 全般
検出	8			
表現	1		2	1
関係	4	1	1	1
適合性	2			
適用	15			
基準				4
効果	2			
運用				2

# 今後の活動計画

- 研究タスク参加者それぞれのState of the Art  
例えば、
  - パターン形式のテキスト解析と体系化(早大:久保さん、NII:鷺崎)
  - デザインパターンの自動適用(東工大:小林さん)
  - 組織パターンと形式化(JAIST:服部さん)
- 今後の方向性
  - 認知科学 / 言語学との学際的取り組み
  - デザインパターンの運用を支援する様々な技術の体系化

# デザインパターンの運用支援

- デザインパターンの抽出活動: 発見、記述、提出、洗練
- デザインパターンの利用活動: 選択、拡張、適用、評価

